

公益社団法人日本造園学会・関東支部 第8回学生デザインワークショップ

サマースタジオ2012

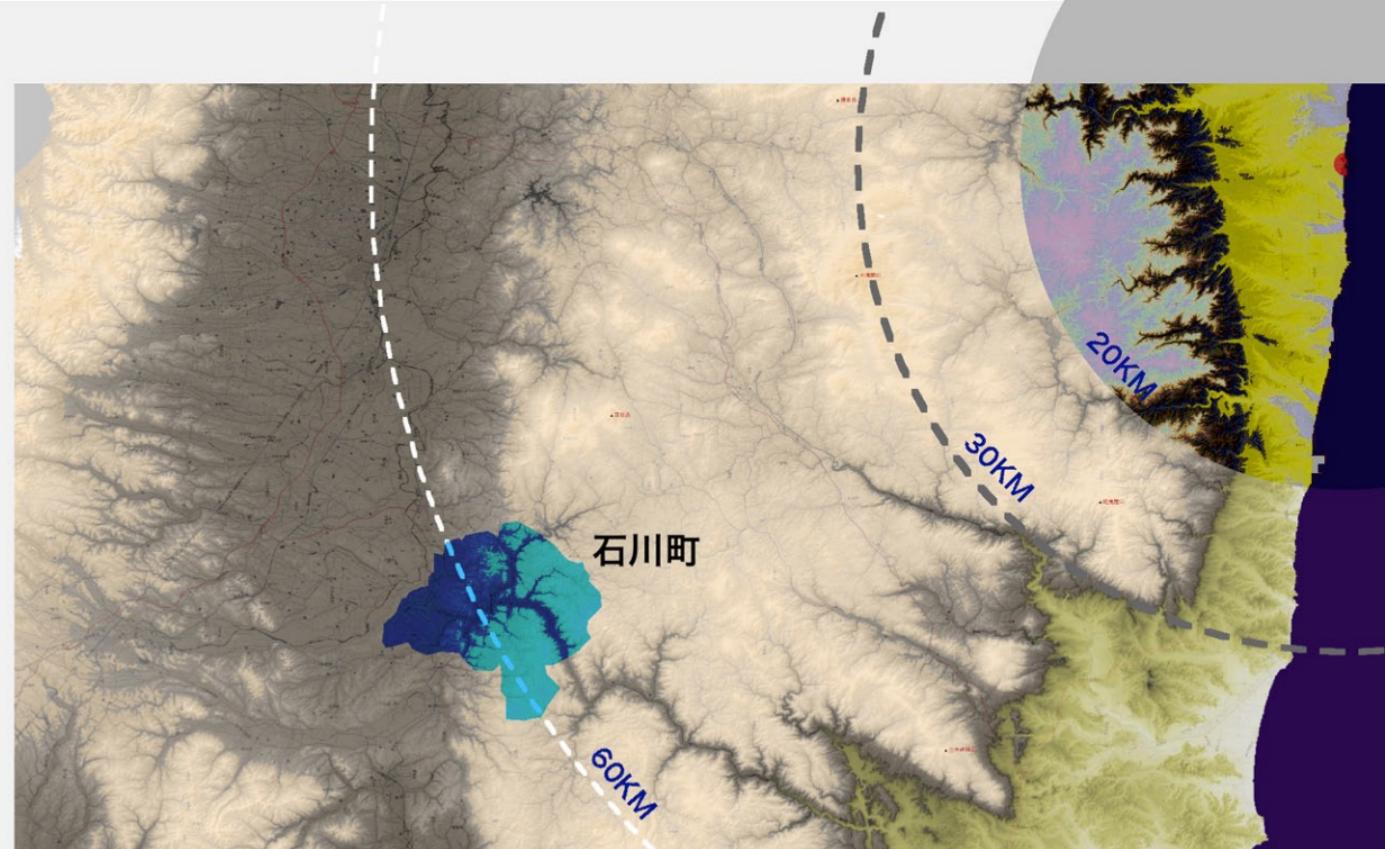
公益社団法人日本造園学会関東支部主催・同東北支部協力・石川町共催

『原発の被害を受けた土地と向き合う』

東日本大震災における原発事故の最大の被害をうけた福島県では、いまだに今後の将来像を描けていない地域が多い。放射線量の程度にかかわらず、風評被害として全県で生活・産業に深刻な影響が続いている。福島の復興なくして東北の復興はないとも言われている。

度合いの異なる被害状況の中でも福島県石川郡石川町に注目する。石川町は原発事故の警戒区域ならびに計画的避難区域に近接しながらも放射線量の非常に低い自治体、いわゆる「クールスポット」ともいわれる地域の最前線に位置する。そのため、原発事故の被害を受けた土地の復興のための後方支援の拠点ともなる可能性は高い。一方で、原発事故から派生した風評被害の克服が地域に重くのしかかる課題ともなっている。また、原発事故がなくとも高齢化や過疎化が進行する地域もあり、地域活性化のためのアイデアが求められている。

これら課題の諸相を前提に、現地でのワークショップにおける地元関係者との対話や現地環境の観察を通じて、生活や生業などに関わる具体的な課題や活かすべき環境資産を見いだし、解決のためのアイデアや土地・大地との繋がりの中で「再び人々が豊かに暮らすことのできる」地域の将来像について考えていきたい。



■対象地

福島県石川郡石川町

8/17（金） - 19（日）現地ワークショップ

■詳細・問い合わせ

関東支部HP (<http://nodaiweb.university.jp/nkbjila/designws/designws-index.htm>)